

受入先	NPO 法人 頼娃おこそ会
役職	
隊員氏名	小野寺 宗貴
着任日	令和 5 年 7 月 1 日

活動月	令和 7 年 8 月（着任 2 年 2 カ月目）
主な活動	1 地域活性化の取り組み～他地域の泥んこバレーボール大会視察～ 2 事業化に向けた準備

1. 地域活性化の取り組み～他地域の泥んこバレーボール大会視察～

先月 6 日に頼娃町郡の休耕田を使って初開催した泥んこバレーボール大会ですが、同大会の参考にさせていただいた、今年で 7 回目の開催となる茨城県筑西市大会への参加と視察を行いました。

開催地は関東圏に近いこともあって、子育て世代の参加が多いと聞き(当日は酷暑予報が出ていたためキャンセルも多かったとのこと)、遠方からの参加者もいるため、午後からの開催ということも、地域ごとの特色があることを感じました。

何回も参加している方も多く、プレー後は同窓会のような雰囲気を出しており、初参加でも受け入れてくれる温かさを感じました。イベントの規模自体は小さくても、楽しみにしている方々が集まって、泥だらけになりながらプレーすることで地域を知っていただくこと、楽しみが世代間に伝わっていくことを感じました。

運営スタッフが少ないこともあり、さらに酷暑のためにメインとなるスタッフが試合開始前に熱中症気味になり、一時離脱せざるを得ない状況となったため、急遽自分が個人参加者のチーム分けや試合進行を託されることとなりました。最初は不安な気持ちになりましたが、残ったスタッフも知恵を出して協力してくれたこともあって、無事にチーム分けを終えて、試合開始できました。開催した経験を活かすことができ良かったです。

地域の関係者も見学に来ており、準備や試合の合間に話をしました。人口流失が激しく空き家問題も顕在化するなどの共通課題もあることを感じつつも、農産物の生産に力を入れていることや、ひまわり畑が観光名所になっているなどの類似点もあり、相互の地域の良さを再確認できました。

将来は相互の地域で参加し合えることを目指したいです(来ていただく際は指宿枕崎線の列車で)。



写真：左と真ん中は大会の様子。右は大会会場付近のひまわり畑。

2. 事業化に向けた準備

指宿枕崎線沿線の活性化。西颯娃駅を中心に地域を活性化することを目標に取り組んでいますが、地域の方々の思いを形にしていくことも大切だと感じています。

日々の生活や業務の中で公共交通機関における鉄道の優位性を考え、会議などで発表することがありますが、唯一の価値が多い路線という意見を多く聞きます。

沿線の価値を高めるため、地域の方とともにできることは何か？訪れるのが楽しめる場所を作っていくこと、その一つが駅であると考えています。

現在、西颯娃駅を所有する JR 九州の関係者と、駅改良に向けた取り組みを話し合っておりますが、来駅する方が快適に利用できるよう、そして列車を待つだけの場所ではなく、滞在を楽しめる場所にできるよう話し合いを進めていきます。

